

越前市との関わりや思い出のあるエピソードをお願いします。

武生国際音楽祭に初めて招かれたのは、1994年のことです。それから今日まで一度も休むことなく20年近くこの音楽祭に参加しており、2001年からは音楽監督として、世界の優れた音楽家と越前市の皆さんが「音楽」を通して出会う広場のような音楽祭を、企画させていただいています。

越前市の魅力はどんなところだと思いますか？

(どのように越前市を紹介していただいているか等)

私のヨーロッパの友人には、日本の古く美しい町並み、たくさんの素晴らしいお寺、神社、そして優しい人柄、こうした失われそうになっている「美しい日本」がまだ残っている珍しい都市であると、紹介しています。そしておいしい日本食、特におそばやお寿司が食べられるところ。海外の優れた演奏家の多くは、日本の大都市は知っていますが、小さな地方の都市はよく知りません。武生音楽祭は、滞在型の音楽祭で、一日、二日やって来て演奏してすぐに違う場所に移る、という音楽家を招いていません。一週間くらい滞在してもらって、初めてその都市の人情、風土、食べ物のよさが見えてきます。そしてほとんどの音楽家は、越前市の素晴らしさに感激して、また来たいと言ってくれます。日本の音楽家たちも、同じように大都会では失ってしまった古き良き日本をここで発見してくれます。

市民の皆さんへのメッセージをお願いします。

現在の日本は、いろんな意味で崩壊しつつあるようです。こういった時代に必要なのは、伝統に根ざした深い静けさと、日々の冷静な落ち着いた生活態度を守って行くことだと思います。大都会で狂ってしまった心の歯車が、越前市に行ったら、本来の自分に帰ることが出来た、そういうことが出来る街が、今の日本には求められていると思います。日本人は、少しずつ自分たちの根っこにある伝統や歴史を失いつつあります。それを持っていないと、人間の生活は常に流行に追われて、大きな経済的な理由で動く何者かに巻き込まれていって、本当の自分の生き方を失っていきます。そうした時代に、もう一度自分の身の回りにある素晴らしいもの、長い間伝わって来たよきものに大切にしながら、新しい未来を切り開いていく生き方が求められています。越前市は、万葉集の時代からの日本の美しさが、いまだに残っている日本でも珍しい小さな市です。この伝統に誇りを持ち、それをただ守るのではなく、新しい時代に生かすような工夫を常にされて、もっと美しい国際的にも誇れる越前市に育てていただけると、嬉しいです。特に私のように、外国で仕事をし、生活する時間が多い人間には、越前市の存在を考えるだけで、懐かしさで胸が一杯になる、そんな都市になってほしいです。